

南浦和 によろこば!



南浦和地域は、古くから都心のベッドタウンとして、南浦和駅を中心に交通アクセスの利便性に恵まれ、にぎわいの中にも親しみがあるまちです。

また、「さいたま市文化センター」「さいたま市立南浦和図書館」などの公共施設のほか、身近な公園や歴史を語る神社などが点在していることも大きな特徴です。

芸術的な分野を中心に幅広く利用できる

さいたま市文化センター



▲毎月さまざまなコンサートや講演会が開催されています。

JR南浦和駅西口から徒歩約7分、市民の文化活動の拠点として音楽・演劇・舞踊・古典芸能などの催し物や、展示会、集会などに幅広くご利用いただけます。

MAP C-3



南区豆知識 ～「うらわぐるり」って?～

南浦和商店会の飲食店では、うなぎの名所である浦和の伝統を踏襲し、うなぎのたれを使用するなど、いくつかのルールに添ったご当地グルメ『うらわぐるり』を提供し、南区内外のお客に喜ばれています。

また、地元の子どもたちが各商店を巡ってお菓子をもらう「ハロウィン・スタンプラリー」や、南浦和の歴史的名所を歩いて巡る「開運さんぽ」などの様々なイベントを通じ、まちづくりに取り組んでいます。

(南浦和商店会 HP より引用)



「うらわぐるり」は 21 ページを 見てね!



JR 南浦和駅



南浦和駅は昭和36年に開業し、現在はJR京浜東北線とJR武蔵野線の乗り換えターミナル駅として、市内・県内から都心に向かう多くの人たちに利用されています。

MAP D-3

南浦和図書館



▲明るく親しみやすい児童資料室。

さいたま市文化センターと併設されており、地域の皆様に親しまれている図書館です。

MAP C-3



南浦和コミュニティセンター



▲コミュニティセンターには南浦和公民館が併設されています。

JR南浦和駅東口から徒歩約15分、体育館、レクリエーション室があり文化・スポーツ・レクリエーション等の活動の場としてご利用いただけ、地域コミュニティの交流の場として利用されています。

(南浦和公民館併設) MAP D-2



文蔵児童センター



MAP D-4



児童センターは、0歳から18歳未満の児童と保護者の方に、無料で利用いただける施設です! 遊具で遊んだり本を読んだりおしゃべりをしたり、ゆったり楽しく過ごせます! ご家族やお友だちとお気軽に遊びに来てください。(文蔵公民館併設)

中浦和地域は、駅前や商店会の店舗と静かな住宅街に囲まれたまちです。JR中浦和駅から徒歩約5分のところには、別所沼公園の広大な水と緑が広がり、子どもたちの遊び場だけでなく、ウォーキングやジョギングなどの健康づくりや、魚釣りを楽しめる場として親しまれています。



JR 中浦和駅



中浦和駅は昭和60年に開業したJR埼京線の駅で、都心へのアクセスも良いほか、駅前のバス停からは路線バス、コミュニティバスが運行し、多くの人々に利用されています。

MAP B-2

別所沼公園



▲木々が水面に映る風景も美しい初秋の別所沼公園。



▲緑に囲まれた開放感あふれる1日を満喫できます。



▲詩人「立原道造」が夢見た週末住宅のヒアシンスハウス。

公園の名前にもなっている別所沼は、洪積台地である大宮台地の谷中に位置し、大宮台地からの湧水などが低地にたまってできたと考えられています。別所沼は釣りも可能で、噴水や弁財天がある弁天島があります。沼の周囲にはメタセコイアなどが生い茂り、その間を抜けるように散歩やジョギングのできるトリムコースが設定されています。また、園内には、児童広場や多目的広場、詩人「立原道造」を記念したヒアシンスハウスなどもあり、水と緑と広場が調和した公園として親しまれています。

MAP B-2



南区豆知識 ～「鹿手袋」ってどう読むの?～

中浦和駅から武蔵浦和駅へと続く途中にある、「鹿手袋」は、日本でただ一つの珍しい地名であり、「しかてぶくろ」と読みます。鹿手袋の地名の由来はどのようなものなのでしょう?

鹿手袋の名は、元入間川に臨んだ袋地であることから、その名がおこったとみられ、袋に冠するに鹿手としたのは、尻手の意であろうといわれています。

また、昔、畠山重忠がこの地で鹿を獲って、その鹿皮で手袋をつくったので鹿手袋の名が付いたとする伝説や、原始時代のアイヌ人が武蔵野に住んでいたころの名であるとも言われています。

(鹿手袋地域の口伝より)



鹿手袋商店会
南ちゃん



鹿手袋商店会
シカテン



水と緑に触れ合う憩いの場

中浦和 を歩こう!



▶JR中浦和駅から徒歩約1分のアミューズメント「浦和スプリングレーンズ」!!

MAP B-2

